

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	超音波リアルタイムガイド下 PICC 挿入の現況調査
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 清水義之・集中治療科
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	研究実施許可後より平成 29 年 12 月まで、0-20 歳までの集中治療室入室患児のうち超音波リアルタイムガイド下 PICC を留置された患児。概算 100 例
研究期間	研究実施許可後～2019 年 3 月 31 日
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	小児集中治療領域において、安定した輸液ルートとして末梢挿入型中心静脈カテーテル(Peripherally inserted central venous catheter: 以下 PICC)の果たす役割は大きい。しかし、治療歴が長い患児においては末梢血管穿刺が容易でない場合や、また逆に乳児などでは穿刺血管を目視あるいは蝕知することが難しいため、PICC 留置が困難な場合がある。超音波ガイド下穿刺による PICC 留置はそのような場合でもカテーテルを留置することができるが、その有用性についての報告はほとんどなされていない。本研究では、当院 PICU で行われている超音波ガイド下 PICC 留置の現状を把握し、その有用性を報告する
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	留置対象者の身長、体重、原疾患の情報、カテーテル留置された血管の種類の情報、カテーテル留置に伴う合併症(誤穿刺、カテーテル位置異常、他臓器への損傷)の情報、カテーテル留置に掛かった時間、カテーテル留置に際し使用した鎮静剤の種類、カテーテル留置期間、留置目的(静脈栄養、その他薬剤投与)に関する情報、抜去時の理由に関する情報
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記

	の問い合わせ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 集中治療科 清水義之 電話 0725-56-1220 (代表)